

# いよいよラグビーワールドカップ2019 原田たかし活動報告



本年9月、いよいよ「ラグビー世界チャンピオン決定戦」となるラグビーワールドカップが大分にやってきます。

ラグビーワールドカップは、夏季オリンピック、サッカーワールドカップと並ぶ世界三大スポーツイベントのひとつで、前回フランス大会は全世界で約40億人がテレビで試合を視聴したそうです。

今回、40万人が大分に来県されると予想されています。地元別府では、一番人気のオールブラックス(ニュージーランド代表チームの愛称)をはじめとして4チームがキャンプを行うなど、観光の起爆剤としても期待されます。



パブリックビューイング 飲食物の提供 ラグビー普及啓発

写真は前回大会でのファンゾーン【大分開催ガイドマップから引用】

入場券の申込はすでに終わっていますが、入場券を持たない方も楽しめるのが大会期間中に開催されるファンゾーン。大分駅南側の「大分いこいの道」に開設され、大型スクリーンによる試合映像の放映(パブリックビューイング)や飲食屋台が設けられ、各種イベントが行われることになっています。

**ファンゾーンでお会いしましょう!**

## 大分県が別府港再編計画を国へ要望

大分県は、今春、九州の東の玄関口として別府港の再編計画を国に要望しました。計画では、別府港の目指すべき将来像として、

- ① 九州の海の玄関口としてにぎわう港
- ② 快適なフェリー上屋
- ③ 他の交通機関への円滑な乗り継ぎ
- ④ フェリー利用者、県民、観光客が食事や買い物や 散策等を楽しめる港

をコンセプトとして下のイメージ図のように要望しています。また、フェリーターミナルとしての機能強化も図っているとのことです。

現在、旅行の移動手段のメインはバスや車、新幹線や電車、飛行機です。フェリーの利用促進のためには、効率やスピードを重視するのではなく、のんびりと過ごしながら人生を楽しみ生活の質を高めようとするスローライフの一環として「ゆっくりとしたフェリーでの旅行」を提案し推進していくことも必要ではないかと思えます。

この再編計画については、関係者の話をお聞きしながら原田も応援していきます。

